

平成23年8月23日

## 今週のベストショット



H23. 8. 28 雁レクE 塩浜ジャガーズ 対 新町パイレーツ戦

初回、ジャガーズ堀内選手のホームスチールを、パイレーツ大濱捕手がナイスブロックでタッチアウト！  
(写真：新町ウインズ 早田主大)

### 青松園A

ブルーマーリンズ	2 1 0 5	8	負投手：友重	HR：小柳
雁の巣ライナーズ	7 2 3 8	20	勝投手：今林貢	HR：濱崎、宇野

一回表ブルーマーリンズは先頭の工藤翔平選手がショート内野安打で出塁すると、四球やセーフティバントなどで2点を先制する。その裏、ライナーズも1番中口雄太選手がライトオーバーの二塁打を放つと3番奥原、4番宇野元康選手の連続安打、さらに9番濱崎和彦選手の3ラン本塁打など打者10人の猛攻で7点を挙げ逆転する。四回の表にはブルーマーリンズ2番小柳訓敏選手の満塁本塁打で反撃するも追いつけず、大量20点を挙げた雁の巣ライナーズが勝利した。(記事:奈多フェニックス 今林文彦)



初回3ランホームランを放ち出迎えられるライナーズ9番濱崎和彦選手。



ブルーマーリンズは8点を取るも、ライナーズ打線を抑える事ができなかった。

## 奈多グラウンド

三苦フレンズ 1 0 0 3 0 1 2 7 負投手：塔本 HR：阿久井、溝上  
レッドサンデーズ 1 5 0 0 2 0 × 8 勝投手：土師 HR：なし

両チーム共に初回は相手の守備の乱れで1点ずつを貰ってのスタートとなった。二回裏レッドは先頭の6番土師猛選手のセンター前ヒットを皮切りに走者を貯め、1番川原正豊選手の目が覚めるような三塁線を破る二塁打で勝ち越すと、さらに後続も続き、この回5得点で一気に試合を決めたかに思われた。しかしフレンズも四回に9番阿久井の3ラン、七回に3番溝上の2ランが飛び出し1点差まで追い上げ、尚も二死一・三塁とレッド土師投手を攻め立てた。が、この日フレンズ唯一の20代である荒木亮太選手が久々の出場で緊張したか、あえなく三振を期しゲームセット！！試合後、勝利投手の土師投手は、1点差まで追い詰められた事に対して「えっ？そうでしたか？」と、相変わらずのポーカークフェイスで締めくくった。  
(記事：三苦ホーネッツ 堺巖生)



四回表、本塁打で二塁を回るフレンズ阿久井恒選手。



二回裏、レッド川原正隆選手の三塁線を襲う勝ち越し打。



七回表、本塁打を打ち本塁までやっとの思いでたどり着いたフレンズ溝ノ上隆之選手。



止めたつもりも、あえなく・・・スイングを取られたレッド古賀進一郎選手。残念！

## 雁レクD

奈多サンデーズ	2 0 1 2 3 0 0	8	勝投手：塚本	HR：江口、塚本
ソルトベイスターズ	1 0 1 0 0 0 3	5	負投手：鶴野	HR：なし

初回、サンデーズはソルト先発鶴野巧投手の立ち上がりを攻め2点を先制する。その裏、すかさずソルトは中村耕一郎選手のタイムリーで1点差とする。3回にも両者1点ずつを追加し、3-2とサンデーズが1点リードで迎えた四回、二死からエラーで出塁したランナーをセカンドに置き、9番江口宏之選手のライトへの2ランでサンデーズが突き放す。続く五回塚本浩二選手のセンターオーバーの2ランで試合を決定付けた。最終回到ソルトはサンデーズのまずい守備から3点を返すも時すでに遅し。サンデーズの4投手による継投で逃げ切られた。（記事：三苦三球会 永吉真也）



四回表、右中間へ2ランを放つサンデーズ先発の江口宏之投手。



サウスポーからコーナーをいっぱいにする投球を見せるソルト鶴野巧投手。



五回表、試合を決める貴重な2ランを放ったサンデーズ二番手の塚本浩二投手。



二回裏、ソルト8番森惣吾選手のバントが小フライとなりWプレー。

## 雁レクE

塩浜ジャガーズ	2 3 0 0	5	負投手：山中	HR：なし
新町パイレーツ	7 0 3 ×	10	勝投手：八坂	HR：川田、桐島

初回ジャガーズは、ツーアウトから4番稗田登選手、7番道喜裕之選手のタイムリーヒットで2点を先制する。その裏パイレーツは無死満塁から4番大濱聡選手のタイムリースリーベースヒット、8番川田弘美選手のスリーランホームランなど打者一巡の猛攻で7点を挙げ、試合の主導権を握る。と思われたがパイレーツ先発八坂亮一投手がいまいちリズムに乗れない。二回もジャガーズ打線に捕まり3番立石高伸選手、4番稗田選手に連続タイムリーを浴び2点差まで詰め寄られる。しかしパイレーツは三回裏に1番桐島涼選手のスリーランホームランで再び突き放し、試合を決めた。

（記事：新町ウインズ 桐島司、写真：早田主大）



一回表、パイレーツ八坂投手からタイムリーを放ったジャガーズ4番稗田登選手。



一回裏、満塁から走者一掃スリーベースを放ったパイレーツ4番大濱聡選手。



パイレーツ田中新一塁手が捕球できず、セーフになるジャガーズ6番松下照夫選手。



一回裏、58歳にして3ランホームランを放ったパイレーツ8番川田弘美選手。スゴッ！

## 第15週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

今週も残暑中4試合が行われ、全て上位チームが順当に勝ちました。

奈多グラウンドのフレンズ対レッド戦では、白熱した点の取り合いでしたが、レッド土師投手がフレンズ阿久井、溝ノ上両選手のHR2発を喰らいながらも最後まで踏ん張り、8-7で勝利しました。8-7って最も見応えがある試合と言われていますよね。青松園Aのブルーマーリンズ対ライナーズ戦は、ライナーズが9番濱崎和彦選手の3ランを含む毎回の20得点で快勝しています。Bマーリンズも2番小柳訓敏選手の満塁本塁打などで8点も取っていますが失点が多すぎました。雁レクDの奈多サンデーズ対ソルトベイスターズ戦では、絶えずリードしていた奈多サンデーズが江口、塚本両投手の好投と効果的なHRで無傷の9連勝。ソルト鶴野投手の両コーナーをつくピッチングに打ちあぐねながらも、甘く入った球は逃さないサンデーズの打線、得点力には感心しますが、失点の多さも目に付きます。付け入る隙があるならそこでしょうね。ソルトは試合前の練習が不足していたのか、大事な場面でのミス、凡打が目立ちました。雁レクEのジャガーズ対パイレーツは、ジャガーズに先制されながらも直後にパイレーツは、4番大濱聡選手と8番川田弘美選手の活躍が光り大量7点で逆転し、三回裏に1番桐島涼選手のスリーランホームランで追いすがるジャガーズにダメを押ししました。

ソフトボールにおいて、投手力が試合の7~8割を占めるとも言われますが、奈多サンデーズ、奈多フェニックス、三苦三球会、三苦ホーネッツ上位4チームは、3つの系統に分かれると思います。4投手を猫の目継投で繋ぐサンデーズ、先発一抑えが確立しているホーネッツ、絶対的先発完投型エースのフェニックスと三球会。どこの投手も力を持っていますが、それぞれ隙はあります。そこを上手く突く攻撃を展開

した先に栄冠が待っているでしょう。新しい球種を覚えたり、スピード、コントロール、インサイドワークを磨くなど、どのチームも投手力を上げる努力を期待します。

#### ○球速と脚力の関係

ソフトボールのピッチングでは大きく広げた腕と脚を一気に締め込むことが肝要である。

速いボールを投げるには腕を速く振ればよいのであるが、腕の力だけでは無理である。

陸上競技で脚を速く動かすには腕を速く振ればよい。逆に腕を速く振るには脚を速く動かせばよいのである。すなわち、速いボールを投げるには脚力が必要なのである。

投球の速さは短距離走の速さに比例するのである。ピッチャーになろうと志す人は常に脚力を鍛えて欲しい。

大きく腕を広げ素早く脇と股間を締めることが重要である。

この場合大きくとは、素早く締めることのできる大きさである。

素早く締め込むことができない場合はステップを小さくしなくてはならない。

ソフトボールのピッチングは決して難解なものではなく、段階を踏んでいけば必ず身につけることができ、実年になっても投げ続けることができる。決してあきらめずにトライして欲しい。